



NO.1280

8月23日 発行所 日本共産党 網走市委員会 網走市北八西三 四三二一四四五八 F 四三二一四四七七



「二度と戦争しない」 非戦の誓い 新たに

8月15日、日本共産党議員団が市内各所で終戦記念日にあたり、街頭宣伝をしました。



松浦議員は、「日本は、アジア諸国を侵略し第2次世界大戦にまで戦争を広げてしまった。その結果、アジア諸国民の2000万人を超える人々と日本国民310万人を超える尊い命を奪いました。その反省から平和憲法ができ、9条では「武力を持たず戦争の放棄」を明記し、9条の力で戦後一人の戦死者も出してこなかった。しかし、安倍政権は、この9

村椿議員は、「原爆投下前には日本の制空権は奪われ、敗戦は決定的だったのに、ポツダム宣言受け入れを軍が拒んだために、まさにアメリカの人体実験にされてしまった。投下して間もなく被爆地を訪れたアメリカ准将は被爆した惨状を目の当たりにして、『この爆弾を2度と使つてはいけぬ』と記録に残していた。核兵器禁止条約を批准する国は44ヶ国になった。今こそ、核兵器を無くそう」と訴えました。

感染拡大させない 検査・医療体制の強化を 市長へ緊急申し入れ

8月12日、日本共産党議員団は新型コロナウイルス第3波を防ぐために、網走市長に緊急申し入れを行いました。網走市ではホクレンディスプレイやスポーツ合宿が行われ、市民の中には不安の声が上がっている。全道的にも不十分な検査体制や情報が分りづらい状況が続いているとして、次の項目を緊急に申し入れました。

- ① 感染震源地の検査
- ② 医療、介護などの従事者の検査数の増
- ③ 症状の有無に関わらない検査対象の拡大
- ④ 感染者のプライバシー配慮をしつつ、住居地域や発生施設など住民への分かりやすい情報公開
- ⑤ 合宿来訪者のPCR検査実施
- ⑥ Go Toトラベルキャンペーンを中止し、宿泊業への直接支援の拡充を行うなどについてです。

松浦奮戦モロ

8月は6日の広島に世界で初めて原爆が投下され、一瞬にして尊い命を奪われました。15日にやっと戦争が終わりました。しかし、その後も被爆者は原爆症で苦しみながら亡くなり、今なお原爆症と戦っています。

アメリカは、原爆投下をするため広島、長崎、新潟などの投下する候補地は、攻撃をこななかったことが明らかになっています。原爆投下前と投下後の映像が残され、被爆者の状況も詳細に調査しているようすの映像があるように、明らかに人体実験が行われたのです。

同時に、日本も科学者を集めて原爆製造の研究をしていたことも事実です。先週テレビで太陽の子というドラマを見ましたが、若い科学者が本当にこの研究が正しいことなのか葛藤するシーンがありました。とても胸が苦しくなる思いになりました。もう戦争は絶対にやつてはなりません。

村が駆ける



1年1年、温暖化が進んでいると日々のニュースや暮らしの中にも感じている。

約百年間で地球の海面は平均で19cm上昇した。これによりフィジーやツバルなどでは毎年高潮が発生し砂浜はもろろん、住む場所さえ奪われ、移住が始まっている。これから百年でさらに26cmから82cm上昇する(RPCシナリオ)と想定されている。網走でも海面は上昇、オホーツク海では高潮の元となる爆弾低気圧も増えている。国交省は災害に強いまちづくりを推進しており、市も検討中である。

また国交省は人口減少と高齢化社会に対応するため街を小さくするコンパクトシティ構想は、市街地に人を集めようとしている。市が中心市街地に新庁舎を立てようとしているのはそのためだろう。そうであるならば、網走市をめざす姿を示して市民の意見を広く聞くべきである。先に建設地を決定したためにその機会が失われている。先に災害に強いまちづくりをしつかりと考えていこう。

流水

網走市でもコロナウイルスの感染者が出た。全国各地コロナウイルス感染者が増大する中、安倍政権は国民の命より、経済が大事とGo Toキャンペーンを継続、感染増加を加速しかねない。非常事態宣言も発せず、国会も開かない。コロナウイルスに対し有効な対策を示さない。安倍首相は国民に対し自粛、自粛と言わばかり。お年寄り二人寄ればコロナの話し、買い物以外は外に出ない、『ストレスが溜まる』『年寄りには死ねと言ふのか』と、憤る。9月1日から農大が授業を始めるとの話し、全国各地から学生が集まる。網走市はコロナ対策をどうするのか、市民は注視!!大変心配している▼8月、忘れてはならない! 広島、長崎に原子爆弾が投下されて75年、非核を訴える被爆者が『微力なことでは、無力ではない』との言葉を池上彰さんが長崎市で取材し、テレビで報道した。▼チリリンと鈴を鳴らし涼しげに天都山の坂を下る同年代のランナー。スキー場入口に乳白色のアジサイが咲いている。青い空と深緑の中、涼しげに白く輝いている。緑のトンネルを抜けると青く光る網走湖から水色の風が吹き上がって来る。坂の下から自転車走って来た若者に『グー・ジョブ』と、声をかける。笑顔が返る、元気をもらおう!!